第２ 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

○　現に千葉県で展開されている経営事例を踏まえ、農業経営体の大多数を占める家族経営が次世代へ向け継続的に発展していくことを目指し、第１の４で示した主たる従事者の所得５２０万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする年間農業所得（１経営体当たり７５０万円程度）を確保し得るモデル的な農業経営の指標として、本県における主要な営農類型を例示すると以下のとおりです。

また、主たる従事者１人当たりの所得５２０万円程度を確保し得るモデル的な組織経営体の農業経営の指標を併せて例示します。

組織形態	営　農　類　型
個別経営体 （家族経営）※1	水稲専作 水稲＋露地野菜（なばな） 露地野菜専作（キャベツ＋だいこん） 〃　（ねぎ＋こまつな＋にんじん） 〃　（ねぎ） 〃　（さつまいも） 施設野菜専作（トマト） 〃　（きゅうり） 露地＋施設野菜（にんじん＋すいか＋トマト＋落花生） 施設花き専作（カーネーション） 果樹専作（日本なし・市場出荷） 〃　（日本なし・直売） 酪農専業 肉用牛専業 養豚専業 観光農業（いちご） 農産加工（加工+水稲）
組織経営体 （営農組合）※２	水田農業（水稲+麦+大豆）

○　なお、県では、農林水産業振興計画に本県農業をけん引する企業的経営体への育成を目指すことを定め、規模拡大や農業経営の法人化など経営体質の強化を図る経営体の支援に取り組んでいます。こうした県の目指す、主たる従事者１人当たりの所得５２０万円程度を確保し得るモデル的な大規模経営の指標を例示すると以下のとおりです。

組織形態	営　農　類　型
個別経営体 （法人経営）※３	水稲大規模経営（個別） 露地野菜専作大規模経営（さつまいも＋じゃがいも＋にんじん）
組織経営体 （営農組合）※２	水稲大規模経営（組織）

※１）個別経営体（家族経営）
「個別経営体」とは、個人又は法人の経営形態で、労働力構成として経営主１名とその家族（後継者等１名を含む）及び雇用労働者で営まれることを想定しています。

※２）組織経営体（営農組合）
「組織経営体（営農組合）」とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、又は、これと併せて農作業を受託する組織であって、農事組合法人、株式会社や合同会社などのほか、経理の一元化など一定の要件を備えた集落営農についても対象として想定しています。

※３）個別経営体（法人経営）
「個別経営体（法人経営）」とは、法人格を有した農業経営体のうち、常時雇用者が確保され、年間農業所得がおおよそ 1,000 万円以上確保されていることを想定しています。

個別経営体（家族経営）

営農類型	水稲専作
規模	水田 28ha（自作地４ha、借入地 24ha） 労働力　家族　２人（主たる従事者１人）、臨時雇用　２人
所得及び労働時間	所得 750 万円※、労働時間 3,892 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター45ps・60ps 各１台、側条施肥田植機６条１台、コンバイン　６条１台 畦塗機、代かきハロー、乾燥調製施設、トラック１台、軽トラック２台 フォークリフト、播種機、育苗器、パイプハウス、作業場、格納庫 ［技術内容］ ・移植栽培 ・省力技術、スマート農業機械等の導入 ・収穫期間１ヶ月間の計画的な作付
経営管理の方法	・長期間安定借地 ・圃場の集約化 ・省力技術の導入 ・圃場管理システム等のスマート農業の実践 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・雇用導入 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
3,020 万円		2,270 万円		750 万円※

1　品種構成

主食用米＋飼料用米生産の組合せ

主食用米　16.8ha

ふさおとめ　5.0ha

ふさこがね　5.8ha

コシヒカリ、粒すけ　6.0ha

飼料用米　11.2ha（区分管理）

2　生産量

主食用米：540kg／10a

飼料用米：630kg／10a

3　単価

主食用米：183 円／kg

飼料用米：10 円／kg

＊飼料用米交付金 113 千円／10ａ

4　所得率

25%

5　単位当たり労働時間

13.9 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃

1,100 円

7　借入地面積

24ha

8　10a 当たり地代

10,800 円

9　想定地域

県内全域

＊乾燥調製施設等の減価償却費を 70%に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	水稲＋露地野菜(食用なばな)
規模	水田 10ha、(自作地２ha、借入地８ha) 労働力：家族２人（主たる従事者１人）、雇用２人
所得及び労働時間	所得 752 万円※、労働時間 5,168 時間（うち水稲 1,640 時間、食用なばな 3,528 時間）
生産方式	［資本装備］ トラクター33ps、乗用田植機５条、コンバイン４条、畦塗機、代かきハロー 乾燥調製施設、管理機、播種機、パイプハウス、作業場、倉庫 ［技術内容］ ・移植栽培 ・水稲収穫期間１ヶ月間の計画的な作付け ・なばな早生～晩生品種の組合せ
経営管理の方法	・長期間安定借地 ・圃場の団地化 ・生産管理の記録 ・なばなのパックやバラ出荷による省力化 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・雇用導入 ・繁忙期の雇用 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
1,838 万円		1,086 万円		752 万円※

1　品種構成
　水稲 10ha（主食用米６ha、飼料用米４ha）
　　コシヒカリ、粒すけ、ふさおとめ、アキヒカリ
　食用なばな 1.4ha（パック 40a、バラ 100a）
　　（早生）：CR 京の春
　　（中生）：CR 栄華
　　（晩生）：サカタ 88 号、CR 花まつり

２　生産量
　水稲（主食用米）32,400kg（540kg/10a）
　水稲（飼料用米）25,200 kg（630 kg/10a）
　なばな（パック出荷）2,000kg（500kg/10a）
　なばな（バラ出荷）　10,000kg（1,000kg/10a）

３　単価
　水稲（主食用米）　183 円/kg
　なばな（パック出荷）900 円/kg
　なばな（バラ出荷）　400 円/kg

4　所得率
　水稲　41％
　なばな　40％

5　単位当たり労働時間
　水稲　16.4 時間/10a
　なばな　268.7 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃
　1,100 円

7　借入地面積　８ha

8　10a 当たり地代　8,500 円

9　想定地域
　夷隅、安房、君津地域

＊水稲の固定資産の 15％を補助金活用として減額
＊機械の減価償却費を 60％に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営の指標を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作(キャベツ＋だいこん)
規模	畑 4.1ha（自作地 2.1ha、借入地 2ha） 労働力　家族２人（主たる従事者１人）、臨時雇用２人
所得及び労働時間	所得 757 万円※、労働時間 4,050 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター、防除機、管理機、定植機、灌水施設、育苗ハウス、パソコン、作業場、倉庫 ［技術内容］ ・土壌分析による合理的な施肥
経営管理の方法	・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・計画的な休息、休日　　・各種保険加入 ・雇用導入

【算定根拠】

農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
2,206 万円　　1,449 万円　　757 万円※

1　品目（作型）及び規模
キャベツ秋冬どり　250a
キャベツ春どり　20a
だいこん冬どり　160a
だいこんトンネル春どり　50a

2　生産量
キャベツ秋冬どり　120,000kg（4,800kg/10a）
キャベツ春どり　8,400kg（4,200kg/10a）
だいこん冬どり　132,800kg（8,300kg/10a）
だいこんトンネル春どり 32,500kg (6,500kg/10a)

3　単価
キャベツ秋冬どり　81 円/kg
キャベツ春どり　93 円/kg
だいこん冬どり　63 円/kg
だいこんトンネル春どり　82 円/kg

4　所得率
キャベツ秋冬どり　34%
キャベツ春どり　40%
だいこん冬どり　36%
だいこんトンネル春どり　29%

5　単位当たり労働時間
キャベツ秋冬どり　45 時間/10a
キャベツ春どり　48 時間/10a
だいこん冬どり　121 時間/10a
だいこんトンネル春どり　182 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃
1000 円

7　借入地面積
200a

8　10a 当たり地代
5,000 円

9　想定地域
海匝地域

＊補助金活用・中古・償却済みにより、減価償却費を 40%に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作(ねぎ＋こまつな＋にんじん)
規模	畑 1.7ha（自作地 1.7ha） 労働力　家族３人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 768 万円※、労働時間 5,952 時間
生産方式	［資本装備］ ハウス、トラクター、防除機、管理機、定植機、灌水施設、育苗ハウス、収穫機、調整機作業場、倉庫、パソコン ［技術内容］ ・土壌分析による合理的な施肥
経営管理の方法	･パソコンなどの活用による経営･労務管理
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
1,458 万円		690 万円		768 万円※

1　品種構成

秋冬ねぎ	80 a
初夏どりねぎ	25 a
夏どりこまつな	25 a
春夏にんじん	40 a

2　生産量

秋冬ねぎ	26,000kg（3,250kg/10a）
初夏どりねぎ	8,750kg（3,500kg/10a）
夏どりこまつな	4,600kg（1,750kg/10a）
春夏にんじん	20,000kg（5､000kg/10a）

3　単価

秋冬ねぎ	280 円／kg
初夏どりねぎ	400 円／kg
夏どりこまつな	320 円／kg
春夏にんじん	120 円／kg

4　所得率

秋冬ねぎ	54%
初夏どりねぎ	55%
夏どりこまつな	61%
春夏にんじん	42%

5　単位当たり労働時間

秋冬ねぎ	436 時間/10a
初夏どりねぎ	444 時間/10a
夏どりこまつな	205 時間/10a
春夏にんじん	211 時間/10a

6　借入地面積

０ a

7　想定地域

千葉・東葛飾地域

＊補助金活用・中古・償却済みにより、減価償却費を 40%に圧縮

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする 1 経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作（ねぎ）
規模	畑 1.4ha（自作地 1.4ha） 労働力　家族３人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 750 万円※、労働時間 5,941 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター、管理機、簡易移植機、動力噴霧器、自走式収穫機、根葉切り同時皮むき機 作業舎、倉庫 ［技術内容］ ・稚苗移植栽培 ・適正な品種構成 ・土壌分析と緩効性肥料による適正施肥 ・省力化機械導入
経営管理の方法	・パソコンなどの活用による経営・労務管理
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
1,421 万円		671 万円		750 万円※

1　品目（作型）及び規模

秋冬ねぎ	80 a
春ねぎ	20 a
初夏ねぎ	20 a
夏秋ねぎ	20 a

2　生産量

秋冬ねぎ	26,000kg（3,250kg/10a）
春ねぎ	7,000kg（3,500kg/10a）
初夏ねぎ	7,000kg（3,500kg/10a）
夏秋ねぎ	6,500kg（3,500kg/10a）

3　単価

秋冬ねぎ	280 円/kg
春ねぎ	280 円/kg
初夏ねぎ	400 円/kg
夏秋ねぎ	310 円/kg

4　所得率

秋冬ねぎ	51%
春ねぎ	53%
初夏ねぎ	55%
夏秋ねぎ	56%

5　単位当たり労働時間

秋冬ねぎ	436 時間/10a
春ねぎ	409 時間/10a
初夏どり	443 時間/10a
夏秋ねぎ	374 時間/10a

6　借入地面積

０ a

7　想定地域

東葛飾・海匝・山武・長生地域

＊補助金活用・中古・償却済みにより、減価償却費を 40%に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作（さつまいも）
規模	畑2.9ha（自作地1.5ha、借入地1.4ha） 労働力　家族2.5人（主たる従事者1人）
所得及び労働時間	所得752万円※、労働時間3,799時間
生産方式	［資本装備］ トラクター、いも類掘取機、つる刈機、フロント施肥機、マルチ同時消毒機 フォークリフト、いも洗い機、育苗ハウス、作業場、倉庫、専用貯蔵庫、パソコン ［技術内容］ ・土壌分析による合理的な施肥 ・無人ヘリによる害虫防除委託
経営管理の方法	・ニーズに合わせた品種構成　　　　　・家族経営協定の締結 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
1,786万円		1,034万円		752万円※

1　品目及び規模
さつまいも　2.9ha

2　生産量
さつまいも　81,200kg（2,800kg/10a）

3　単価
さつまいも　220円/kg

4　所得率
42%

5　単位当たり労働時間
131時間/10a

6　1時間当たりの雇用労賃
なし

7　借入地面積
140a

8　10a当たり地代
15,000円

9　想定地域
印旛、香取地域

＊補助事業活用及び施設の一部を償却済みとして、減価償却費全体を70%に圧縮

※この指標は、主たる従事者1人当たり520万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする1経営体当たり750万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

<table>
<tr><td>営農類型</td><td colspan="2">施設野菜専作（トマト）</td></tr>
<tr><td>規模</td><td colspan="2">ハウス 4,000 ㎡（自作地 4000 ㎡）
労働力　家族３人（主たる従事者１人）</td></tr>
<tr><td>所得及び労働時間</td><td colspan="2">所得 770 万円※、労働時間 5,720 時間</td></tr>
<tr><td>生産方式</td><td colspan="2">［資本装備］
ハウス、トラクター、防除機、灌水施設、暖房機、炭酸ガス施用機、環境測定器
育苗ハウス、作業場、倉庫、パソコン
［技術内容］
・土壌分析による合理的な施肥
・環境制御技術の改善</td></tr>
<tr><td>経営管理の方法</td><td colspan="2">・集選果施設の利用　　　　　　　　　・家族経営協定の締結
・パソコンなどの活用による経営・労務管理</td></tr>
<tr><td>農業従事の態様</td><td colspan="2">・計画的な休息、休日
・各種保険加入</td></tr>
<tr><td colspan="3">【算定根拠】
農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
2,800 万円　　　2,030 万円　　　770 万円※</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　品目（作型）及び規模
長期どりトマト　4,000 ㎡
2　生産量
長期どりトマト　100,000kg（25,000kg/10a）
3　単価
長期どりトマト　280 円
4　所得率
長期どりトマト　28%
5　単位当たり労働時間
長期どりトマト　1,430 時間／10 a</td><td>6　借入地面積
０ a
7　想定地域
海匝・長生地域

＊補助事業活用及び施設の一部を償却済みとして、減価償却費全体を 49%に圧縮</td></tr>
</table>

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

<table>
<tr><td>営農類型</td><td>施設野菜専作(きゅうり)</td></tr>
<tr><td>規模</td><td>ハウス 3,000 ㎡（自作地 3,000 ㎡）
労働力　家族３人（主たる従事者１人）</td></tr>
<tr><td>所得及び労働時間</td><td>所得 750 万円※、労働時間 5,031 時間</td></tr>
<tr><td>生産方式</td><td>［資本装備］
ハウス、トラクター、防除機、灌水施設、暖房機、炭酸ガス施用機、環境測定器
作業場、倉庫、パソコン
［技術内容］
・土壌分析による合理的な施肥
・環境制御技術の改善</td></tr>
<tr><td>経営管理の方法</td><td>・集選果施設の利用　　　　　　　　　　・家族経営協定の締結
・パソコンなどの活用による経営・労務管理</td></tr>
<tr><td>農業従事の態様</td><td>・計画的な休息、休日
・各種保険加入</td></tr>
<tr><td colspan="2">【算定根拠】
農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
2,068 万円　　　1,318 万円　　　750 万円※</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　品目（作型）及び規模
促成きゅうり　3,000 ㎡
夏秋きゅうり　2,000 ㎡
2　生産量
促成きゅうり　55,500kg（18,500kg/10a）
夏秋きゅうり　15,000kg（7,500kg/10a）
3　単価
促成きゅうり　300 円/kg
夏秋きゅうり　269 円/kg
4　所得率
促成きゅうり　37%
夏秋きゅうり　31%
5　単位当たり労働時間
促成きゅうり　1,238 時間/10a
夏秋きゅうり　659 時間/10a
6　借入地面積
０ a
7　想定地域
海匝地域
＊補助事業活用及び施設の一部を償却済みとして、減価償却費全体を 58%に圧縮</td></tr>
</table>

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地+施設野菜(にんじん＋すいか＋トマト＋落花生)
規模	ハウス 3,000 ㎡、畑 1.5ha（自作地 1.8ha） 労働力　家族３人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 750 万円※、労働時間 4,867 時間
生産方式	［資本装備］ ハウス、トラクター、防除機、トラック、播種機、灌水施設、にんじん収穫機 にんじん調製機、作業場、倉庫、パソコン ［技術内容］ ・輪作体系の導入
経営管理の方法	・パソコンなどの活用による経営･労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】　農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
1,781 万円　1,031 万円　750 万円※

1　品目（作型）及び規模

すいか（ハウス半促成）	3,000 ㎡
すいか（大型トンネル）	30a
すいか（小型トンネル）	20a
トマト（ハウス抑制）	3,000 ㎡
秋冬にんじん	100a
落花生	20a

2　生産量

すいか（ハウス半促成）	11,550kg	(3,850kg/10a)
すいか（大型トンネル）	12,600kg	(4,200kg/10a)
すいか（小型トンネル）	10,400kg	(5,200kg/10a)
トマト（ハウス抑制）	15,600kg	(5,200kg/10a)
秋冬にんじん	45,000kg	(4,500kg/10a)
落花生	824kg	(414kg/10a)

3　単価

すいか（ハウス半促成）	270 円/kg
すいか（大型トンネル）	200 円/kg
すいか（小型トンネル）	160 円/kg
トマト（ハウス抑制）	300 円/kg
秋冬にんじん	115 円/kg
落花生	800 円/kg

4　所得率

すいか（ハウス半促成）	45%
すいか（大型トンネル）	21%
すいか（小型トンネル）	27%
トマト（ハウス抑制）	50%
秋冬にんじん	45%
落花生	73%

5　単位当たり労働時間

すいか（ハウス半促成）	250 時間/10a
すいか（大型トンネル）	193 時間/10a
すいか（小型トンネル）	204 時間/10a
トマト（ハウス抑制）	595 時間/10a
秋冬にんじん	146 時間/10a
落花生	234 時間/10a

6　借入地面積　０ａ

7　想定地域
印旛、香取、山武地域

＊補助金活用・中古・償却済みにより、減価償却費を 40%に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

<table>
<tr><td>営農類型</td><td>施設花き専作（カーネーション）</td></tr>
<tr><td>規模</td><td>ハウス　4,000 ㎡（自作地 4,000 ㎡）
労働力　家族３人（主たる従事者１人）、常時雇用２人</td></tr>
<tr><td>所得及び労働時間</td><td>所得 750 万円※、労働時間 8,136 時間</td></tr>
<tr><td>生産方式</td><td>[資本装備]
鉄骨ハウス、自動カーテン、自走式防除機、養液土耕装置、土壌消毒機、選花結束機
共同集出荷場、冷蔵庫、パソコン
[技術内容]
・土壌溶液分析による施肥管理
・生産性及び耐病性の高い品種の採用
・品種に応じた栽培管理
・作業の省力化、標準化
・冬期の夜温管理</td></tr>
<tr><td>経営管理の方法</td><td>・パソコンなどの活用による経営管理
・管理日誌の記帳活用
・家族経営協定の締結</td></tr>
<tr><td>農業従事の態様</td><td>・休憩室の充実
・常雇パートの導入
・部門分担制の採用</td></tr>
<tr><td colspan="2">【算定根拠】
農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
2,950 万円　　2,200 万円　　750 万円※</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　品種構成及び規模
スタンダード品種　3,000 ㎡
スプレー品種　1,000 ㎡

2　生産量
スタンダード品種　376,200 本
スプレー品種　125,400 本

3　単　価
スタンダード品種　59 円／本
スプレー品種　59 円／本

4　所得率
25％

5　単位当たり労働時間
2,034 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃
1,100 円

7　借入地面積
０ a

8　想定地域
県内全域

＊補助金活用・中古・償却済みにより、減価償却費を 40％に圧縮</td></tr>
</table>

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	果樹専作（日本なし・市場出荷）
規模	樹園地　1.6ha（自作地 1.6ha） 労働力　家族 2.5 人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 757 万円※、労働時間 3,936 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター（アタッチメント：ロータリー、肥料散布機）、スピードスプレーヤー 乗用草刈機、梨棚、多目的防災網、運搬車、トラック(軽,普通:1t)、倉庫、開葯器 葯採取機、花粉精選機 ［技術内容］ ・花芽摘除，摘蕾,摘花，人工受粉,早期摘果 ・適正な新梢管理 ・土壌改良と地力向上 ・省力的樹形 ・「幸水」計画的改植と早期成園化
経営管理の方法	生産管理 ・計画的な改植 ・苗木の適正管理 ・品種構成の改善 ・適期適正管理
農業従事の態様	・計画的な休息、休日

【算定根拠】

農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得

1,672 万円　　915 万円　　757 万円※

1　品種構成及び規模（成園 160a）

幸 水　85a　　豊　水　40a

あきづき　30a　　新　高　５a

2　生産量

幸　水 1,800kg/10a　豊　水 2,300kg/10a

あきづき 2,300kg/10a　新　高 4,000kg/10a

3　単　価(市場)

幸　水 540 円/kg　豊　水 490 円/kg

あきづき 500 円/kg　新　高 250 円/kg

4　所得率

45％

5　単位当たり労働時間

246 時間/10a

（うち家族 246 時間/10a）

6　借入地面積

０a

7　想定地域

県内全域

＊防災網と梨棚の一部（60％）を償却済みとした

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする 1 経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	果樹専作（日本なし・直売）
規模	樹園地　1 ha（自作地 1 ha） 労働力　家族 2.5 人（主たる従事者 1 人）
所得及び労働時間	所得 755 万円※、労働時間 2,989 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター（アタッチメント：ロータリー、ハンマーナイフモアー、ブロードキャスター、ラビットモアー、スピードスプレーヤー）、梨棚、多目的防災網、収穫台車 トラック（軽）、バックホー、選果機、直売所 ［技術内容］ ・花芽摘除，摘蕾,摘花，人工受粉,早期摘果 ・適正な新梢管理 ・土壌改良と地力向上 ・省力的樹形 ・「幸水」計画的改植と早期成園化
経営管理の方法	生産管理 ・計画的な改植 ・苗木の適正管理 ・品種構成の改善 ・適期適正管理 販売管理 ・顧客リスト整備 ・接客技術
農業従事の態様	・計画的な休息、休日

【算定根拠】

農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
1382 万円　　627 万円　　755 万円※

1　品種構成及び規模（成園 100a）
幸 水　50a　　豊 水　20a
あきづき　20a　　新 高　10a

2　生産量
幸 水 1,800kg/10a　豊 水 2,200kg/10a
あきづき 2,200kg/10a　新 高 3,000kg/10a

3　単 価(直売)
幸 水 700 円/kg　豊 水 650 円/kg
あきづき 650 円/kg　新 高 600 円/kg

4　所得率
55%

5　単位当たり労働時間
299 時間/10a
（うち家族 299 時間/10a）

6　借入地面積
0 a

7　想定地域
東葛飾・印旛・千葉地域

＊防災網と梨棚の一部（60%）を償却済みとした

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする 1 経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	酪農専業
規模	乳牛　経産牛 33 頭、未経産牛 11 頭 労働力　家族２人（主たる従事者１人）、臨時雇用２人
所得及び労働時間	所得 750 万円※、労働時間 4,218 時間
生産方式	［資本装備］ (共)自給飼料生産機械(ﾄﾗｸﾀｰ、ﾌﾟﾗｳ、ﾛｰﾀﾘｰ、ﾏﾆｭｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞ、ｺｰﾝﾊｰﾍﾞｽﾀ、ﾓｱｺﾝ、ﾍﾞｰﾗｰ、ﾗｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼﾝ)、ショベルローダー、グローブ、TMR ミキサー、バキュームカー、ダンプカー 搾乳牛舎、乾乳・育成牛舎、堆肥舎、発酵処理施設、自動離脱搾乳装置 ［技術内容］ ・頭数規模に応じたタイストール方式及びＦＳ、ＦＢ方式の採用 ・TMR 給与 ・発酵飼料の活用 ・牛群検定の利用 ・性判別精液、受精卵の活用 ・稲 WCS、飼料用米利用 ・カウコンフォートの採用 ・暑熱対策技術 ・スマート農業技術
経営管理の方法	・飼養衛生管理基準の遵守 ・自給飼料生産機械の共同利用 ・自給飼料基盤の団地化及び水田利活用 ・作業の外部化 （預託牧場、コントラクター、TMR センター） ・耕畜連携等による稲 WCS、飼料用米、堆肥利用の促進 ・パソコンなどを活用した経営、労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・雇用労働活用（ヘルパー） ・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益（生乳粗収益＋副産物粗収益）	－	農業経営費	＝	農業所得
3,788 万円（3,253 万円＋535 万円）		3,038 万円		750 万円※

1　品目　酪農専業（乳牛）
2　規模　経産牛 33 頭
　　　　未経産牛 11 頭
3　生産量　経産牛１頭当たり　8,800kg
4　単価　乳価　114 円/kg
5　所得率　20%
6　労働時間　経産牛１頭当たり　129 時間
7　１時間当たり雇用労賃　1,332 円
＊農林水産省「畜産物生産費統計」より算出
同統計における「搾乳牛」は、「乾乳牛」を含む意であることから、本指標では「経産牛」と表記

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	肉用牛専業
規模	飼養頭数　黒毛和種等 127 頭、出荷頭数 75 頭 労働力　家族２人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 750 万円※、3,696 時間
生産方式	［資本装備］ 肥育牛舎、育成舎、堆肥舎、発酵処理施設、(共)トラクター、(共)ﾏﾆｱｽﾌﾟﾚｯﾀﾞｰ (共)テッダーレーキ、(共)ロールベーラー、ショベルローダー、グローブ、ダンプカー ［技術内容］ ・国産稲わらの活用 ・発酵飼料の活用 ・稲 WCS、飼料用米利用 ・カウコンフォートの採用 ・暑熱対策技術 ・スマート農業技術
経営管理の方法	・飼養衛生管理基準の遵守 ・自給飼料生産機械の共同利用 ・自給飼料基盤の団地化及び水田利活用 ・耕畜連携等による稲 WCS、飼料用米、堆肥利用の促進 ・パソコンなどを活用した経営、労務管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・雇用労働活用（ヘルパー） ・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益（肥育牛粗収益＋副産物粗収益）　－　農業経営費　＝　農業所得
9,740 万円（9,650 万円＋90 万円）　　8,990 万円　　750 万円※

１　品目　黒毛和種等専業

２　規模　黒毛和種 127 頭
年間販売頭数 75 頭

３　生産量　肥育牛１頭当たり
生体重　814kg
枝肉歩留　63％
枝肉重量　513kg

４　単価　2,501 円／kg

５　所得率　８％

６　労働時間　肥育牛１頭当たり　49 時間

＊農林水産省「畜産物生産費統計」より算出

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	養豚専業	
規模	養豚　繁殖雌豚 80 頭、繁殖雄豚３頭 労働力　家族２人（主たる従事者１人）、臨時雇用１人	
所得及び労働時間	所得 1,299 万円※、労働時間 4,859 時間	
生産方式	［資本装備］ 繁殖豚舎、分娩舎、離乳施設、子豚舎、肥育豚舎、堆肥舎（保管庫）、発酵処理施設 尿処理施設（浄化槽・液肥施設）、自動給餌機、トラック、ダンプ、ショベルローダー バキュームカー、消毒システム ［技術内容］ ・人工授精 ・繁殖豚群管理 ・換気システム ・効率的ふん尿処理 ・消毒の徹底 ・系統豚の利用 ・スマート農業技術	
経営管理の方法	・飼養衛生管理基準の遵守 ・慢性疾病改善等清浄化プログラム ・ベンチマークの活用	・耕畜連携等による飼料用米、堆肥利用の促進 ・パソコンなどを活用した経営、労務管理 ・家族経営協定締結
農業従事の態様	・雇用導入 ・計画的な休息、休日	・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益（肥育豚粗収益＋副産物粗収益）	－	農業経営費	＝	農業所得
6,574 万円（6,400 万円＋174 万円）		5,275 万円		1,299 万円※

1	品目	養豚一貫経営	4	単価	488 円／kg
2	規模	繁殖雌豚 80 頭	5	所得率	20％
3	生産量	繁殖雌豚１頭当年間肉豚出荷頭数 21.8 頭 出荷生体重　115kg 枝肉重量　75.3 kg	6	労働時間	肥育豚１頭当たり　2.8 時間
			7	１時間当たり雇用労賃	1,353 円

＊農林水産省「畜産物生産費統計」より算出

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	観光農業（いちご）
規模	ハウス 3,000 ㎡（育苗ﾊｳｽ 400 ㎡含）　（自作地 3,000 ㎡） 労働力　家族　３人（主たる従事者１人）
所得及び労働時間	所得 752 万円※、労働時間 5,786 時間
生産方式	［資本装備］ ハウス、トラクター、防除機、畦上げ機、灌水施設、暖房機、育苗ハウス、作業場、倉庫予冷庫、直売所、トイレ ［技術内容］ ・土壌分析による合理的な施肥
経営管理の方法	･パソコンなどの活用による経営･労務管理　・家族経営協定の締結 ・接客、販売促進技術の習得
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
1,638 万円		886 万円		752 万円※

1　品目及び規模
　いちご　2,600 ㎡
2　生産量
　いちご　9,100kg（3,500kg/10a）
3　単価
　いちご　1,800 円/人
　（一人当たり平均消費量１ｋｇ＋直売）
4　所得率
　いちご　46％
5　単位当たり労働時間
　いちご　2,225 時間/10ａ
6　１時間当たりの雇用労賃
　なし
7　借入地面積
　０ａ
8　10ａ当たり地代
　－
9　想定地域
　県内全域

＊施設の一部を償却済みとして､減価償却費全体を69%に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

個別経営体（家族経営）

営農類型	農産加工（加工＋水稲）	
規模	加工（もち、おこわ）、水田 15ha 労働力　家族２人（主たる従事者１人）、臨時雇用２人	
所得及び労働時間	所得 790 万円※、労働時間 5,430 時間	
生産方式	〔資本装備〕 加工室、ボイラー、圧力釜、餅つき機、餅切り機、セイロ等加工器具一式、トラクターコンバイン、田植え機、乾燥機施設一式、軽トラック、作業場、倉庫 〔技術内容〕 ・製造工程の管理 ・保存・包装技術 ・食品表示の徹底 ・衛生管理の徹底	
経営管理の方法	・営業許可の取得 ・良質原材料生産 ・計画的な材料調達 ・周年製造販売体制と需要期の対応 ・販売記録に基づいた製造計画	・独自の資源とコンセプトを活かした商品開発 ・原価計算と適正価格の設定 ・効果的な販売方法とＰＲ手法 ・パソコンなどの活用による経営・労務・顧客管理 ・家族経営協定の締結
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・各種保険加入	・ＰＬ保険（製造者責任保険）の　加入

【算出根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
2,540 万円		1,750 万円		790 万円※

1　品目
もち：切り餅、のし餅、丸餅
おこわ：五目おこわ、赤飯

2　規模
加工用原料米（もち米）２ha
主食用米　13ha

3　生産量
もち米　9,450kg(472kg/10a)
主食用米　70,200 kg（540 kg/10a)

4　加工品販売量
餅加工　8,000kg
おこわ　4,500kg

5　単価
餅加工　900 円/kg
おこわ　1,200 円/kg
主食用米　183 円/kg

6　所得率
31％

7　１時間当たりの雇用労賃
1,000 円

8　想定地域
県内全域

＊減価償却費は 40％に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度に加え、後継者等の一定所得を可能とする１経営体当たり 750 万円程度の農業所得を確保し得るモデル的な家族経営を示している。

組織経営体　（営農組合）

営農類型	水田農業（水稲＋麦＋大豆）
規模	水田 45ha（自作地 10ha、借入地 35ha） 労働力　構成員４人（主たる従事者４人）、臨時雇用３人
所得及び労働時間	所得 2,106 万円（助成金 2,256 万円含）※、労働時間 6,445 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター、側条施肥田植機、コンバイン、畦塗り機、代かきハロー 乾燥調製施設 30ha 規模（汎用乾燥機）、作業舎、格納庫、トラック、サブソイラー ハローシーダー、ブームスプレーヤー、ロータリカルチ、汎用コンバイン、大豆選別機 ［技術内容］ ・水稲　移植栽培 ・大豆　300A 技術
経営管理の方法	・長期借地 ・圃場の団地化 ・２年３作ブロックローテーション ・生産記録 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・法人化
農業従事の態様	・雇用導入 ・計画的な休息、休日 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
5,676 万円		3,570 万円		2,106 万円※

1　品目・規模及び品種構成
　水稲　30ha（ふさおとめ、ふさこがね、コシヒカリ、粒すけ）
　大豆　15ha（サチユタカ、フクユタカ）
　小麦　15ha（さとのそら）

2　生産量
　水稲　162,000 kg（540kg/10a）
　大豆　31,500 kg（210kg/10a）
　小麦　45,000 kg（300kg/10a）

3　単価
　水稲　183 円/kg
　大豆　100 円/kg
　小麦　30 円/kg

4　所得率
　37％

5　単位当たり労働時間
　水稲　13.9 時間/10a
　大豆　7.6 時間/10a、
　小麦　7.6 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃
　1,100 円

7　借入地面積
　35ha

8　10ａ当たり地代
　12,000 円

9　想定地域
　県内全域

10　助成金
　水田活用直接支払交付金
　畑作物直接支払交付金　等

＊機械の一部を償却済みとし、60％に圧縮

※この指標は、主たる従事者１人当たり 520 万円程度を確保し得る組織経営体のモデル的な経営を示している。

個別経営体（法人経営）

営農類型	水稲大規模経営（個別）
規模	水田 100ha、餅加工、秋冬ホウレンソウ（借入地 100ha） 労働力：４人（主たる従事者４人）、常時雇用３人、臨時雇用３人
所得及び労働時間	所得 2,200 万円※、労働時間 15,700 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター　45ps１台・100ps１台・60ps３台、側条施肥田植機　８条１台・６条１台 コンバイン　６条２台、乾燥調製施設、トラック、軽トラック、フォークリフト 水稲播種機、育苗器、パイプハウス、ホウレンソウ播種機、作業場、格納庫 ［技術内容］ ・移植栽培＋直は栽培 ・スマート農業機械導入 ・収穫期間 1.5 ヶ月間の計画的な作付
経営管理の方法	・長期間安定借地 ・圃場の集約化 ・省力技術の導入 ・契約販売及び直販の実施 ・圃場管理システム等のスマート農業の実践 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・農業経営基盤強化準備金の計画的利用
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・雇用導入 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益　－　農業経営費　＝　農業所得
11,000 万円　　8,800 万円　　2,200 万円※

1　品種構成
主食用米　　60ha
　ふさおとめ:10ha
　ふさこがね:20ha
　コシヒカリ：20ha（直販 5ha）
　ふさのもち：5ha
　晩生契約用品種：5ha（直販）
飼料用米（多収性品種）：30ha
米粉用米または加工用米：10ha
ホウレンソウ　20a、　餅加工　3,300 枚

2　生産量
主食用米:540kg/10a、直販米:480 kg/10 a
飼料用米:600kg/10a
ホウレンソウ:1,200 kg/10a

3　単価
主食用米:183 円/kg、直販米：250 円/kg
飼料用米:10 円/kg＊交付金 108 千円/10a
ホウレンソウ：440 円/kg
餅加工：900 円/kg

4　所得率
水稲:20.6%、餅加工：25.7%、
ホウレンソウ:0%　　＊経営全体 20.6%

5　単位当たり労働時間
水稲:13.9 時間/10a（直販米:17.9 時間/10ａ）
ホウレンソウ:280 時間/10a

6　雇用労賃
常時雇用　330 万円/年
臨時雇用　1,300 円/時

7　借入地面積
100ha

8　10a 当たり地代
12,000 円

9　想定地域
県内全域

＊補助事業導入及び償却済み機械の使用等により、水稲の減価償却費を 70%に圧縮

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度を確保し得る大規模経営体のモデル的な経営を示している。

個別経営体（法人経営）

営農類型	露地野菜専作大規模経営（さつまいも＋じゃがいも＋にんじん）
規模	畑 13ha（自作地 1.5ha、借入地 11.5ha） 労働力　家族３人（主たる従事者３人）、常時雇用４人、臨時雇用２人
所得及び労働時間	所得 2,332 万円※、労働時間 15,534 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター53ps,33ps,20ps,18ps,14.5ps 各１台、いも類収穫機２台、つる刈機２台 フロント施肥機、マルチ同時消毒機、フォークリフト、さつまいも洗い機、重量選別機 専用貯蔵庫３棟、ライムソワー、にんじん収穫機、にんじん選別機、にんじん洗い機 育苗ハウス 14 棟、作業場、倉庫、パソコン ［技術内容］ ・土壌分析による合理的な施肥 ・無人ヘリによる害虫防除委託
経営管理の方法	・ニーズに合わせた品種構成　　・就業規則の整備 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理
農業従事の態様	・雇用導入　　・各種保険加入 ・計画的な休息、休日

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
7,555 万円		5,223 万円		2,332 万円※

1　品目及び規模
　さつまいも　1,100a
　じゃがいも　200a
　秋冬にんじん　150a

2　生産量
　さつまいも　297,000kg（2,700kg/10a）
　じゃがいも　65,000 kg（3,250kg/10a）
　秋冬にんじん　75,000 kg（5,000 kg/10a）

3　単価
　さつまいも　200 円/kg
　じゃがいも　110 円/kg
　秋冬にんじん　120 円/kg

4　所得率
　さつまいも　33%
　じゃがいも　14%
　秋冬にんじん　33%
　（全体平均：31%）

5　単位当たり労働時間
　さつまいも　111 時間/10a
　じゃがいも　85 時間/10a
　秋冬にんじん　103 時間/10a

6　１時間当たりの雇用労賃
　常時雇用　1,500 円（年間 300 万円/人）
　臨時雇用　1,100 円

7　借入地面積
　1,150 a

8　10 a 当たり地代
　15,000 円

9　想定地域
　印旛、香取地域

＊補助事業活用及び施設の一部を償却済みとして、減価償却費全体を 70%に圧縮

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度を確保し得る大規模経営体のモデル的な経営を示している。

組織経営体（営農組合）

営農類型	水稲大規模経営（組織）
規模	水田 100ha、畑２ha（借入地 102ha） 労働力：理事　６人（主たる従事者６人）、常時雇用２人、臨時雇用３人
所得及び労働時間	所得 3,145 万円※、労働時間 17,500 時間
生産方式	［資本装備］ トラクター　45ps１台・100ps１台・60ps３台、側条施肥田植機　８条２台・６条１台 コンバイン　６条３台、乾燥調製施設、トラック、軽トラック、フォークリフト 播種機、育苗器、パイプハウス、ねぎ定植機・収穫機・調整施設、作業場、格納庫 ［技術内容］ ・移植栽培＋直は栽培 ・スマート農業機械導入 ・収穫期間 1.5 ヶ月間の計画的な作付
経営管理の方法	・長期間安定借地 ・圃場の集約化 ・省力技術の導入 ・圃場管理システム等のスマート農業の実践 ・パソコンなどの活用による経営・労務管理 ・農業経営基盤強化準備金の計画的利用
農業従事の態様	・計画的な休息、休日 ・雇用導入 ・各種保険加入

【算定根拠】

農業粗収益	－	農業経営費	＝	農業所得
11,820 万円		8,675 万円		3,145 万円※

1　品種構成
主食用米＋飼料用米生産の組合せ
主食用米　　40ha
ふさおとめ:10ha
ふさこがね:20ha
コシヒカリ：10ha
飼料用米（多収性品種）：60ha
ねぎ　2ha

2　生産量
主食用米　:540kg/10a
飼料用米　:600kg/10a
ねぎ　　:2,000 kg/10a

3　単価
主食用米:183 円/kg
飼料用米:10 円/kg
＊交付金 108 千円/10a
ねぎ　　:250 円/kg

4　所得率
水稲:28.3%
ねぎ:8.8%

5　単位当たり労働時間
水稲:13.9 時間/10a
ねぎ:177 時間/10a

6　雇用労賃
常時雇用　300 万円/年
臨時雇用　1,500 円/時

7　借入地面積
102ha

8　10a 当たり地代
12,000 円

9　想定地域
県内全域

＊補助事業導入及び償却済み機械の使用等により、水稲の減価償却費を 60%に圧縮

※この指標は、主たる従事者 1 人当たり 520 万円程度を確保し得る大規模経営体のモデル的な経営を示している。